

マンモグラフィー検査を受けられる方へ

マンモグラフィとは??

乳房のX線撮影のことです。乳房は柔らかい組織でできているため、撮影に適した専用の装置を使います。



検査について

圧迫板で乳房を均一に圧迫し、一方の乳房に上下、左右2方向の撮影で、計4回の撮影を行います。

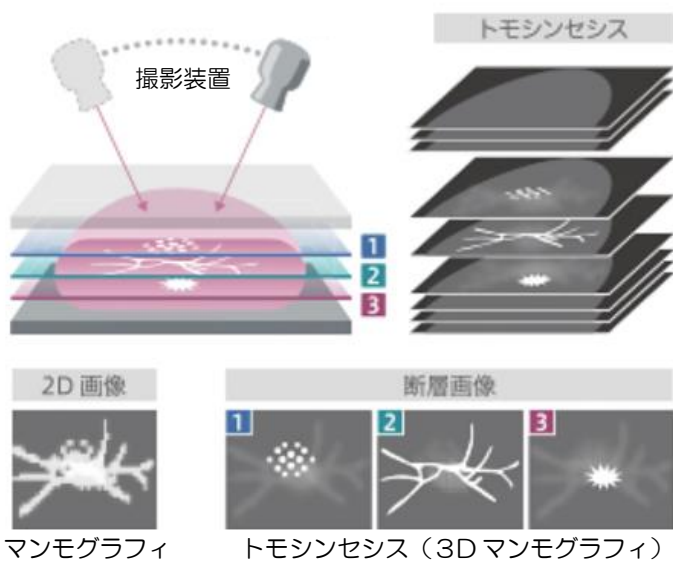
検査時間は約10～15分程度です。



トモシンセシス機能 (3D マンモグラフィ)

2019年1月、新機種導入により、トモシンセシスという撮影が可能になりました。通常のマンモグラフィ撮影と同様に圧迫を行います。一回の圧迫で、マンモグラフィとトモシンセシス両方の撮影が可能です。

撮影時には、撮影装置が動きながら、様々な角度からの撮影を行います。



- マンモグラフィ：数 cm の厚みのある塊の画像
- トモシンセシス：1mm 程度の断層画像



乳腺の重なりにより、発見が難しい
病変の診断精度が向上します！

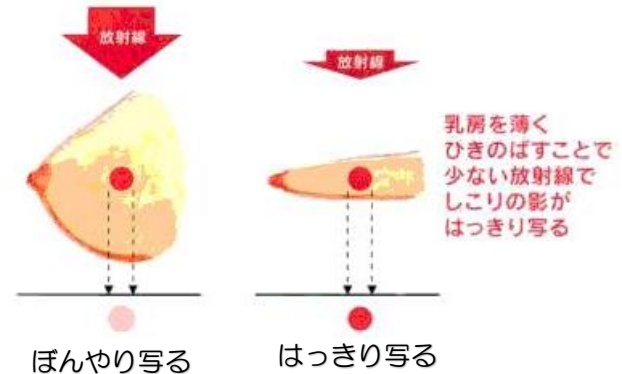
※ トモシンセシス撮影は、医師が必要であると判断した場合に追加します

乳房の圧迫が必要な理由

乳房は厚みがあるため、圧迫せずに撮影すると乳腺や脂肪、血管などの重なりにより、病変があっても発見が難しいことがあります。

乳房を薄く引き伸ばすことにより

- 乳腺の重なりを分けることができ、小さな病変を見付けやすくなる
- 放射線の被ばく量を減らすことができる



撮影時に気を付けること

なるべくリラックスして力を抜くことで、圧迫の際の痛みが軽減されます。

食事制限や、前もって服用するお薬などはありません。

以前に受けた手術や傷跡、ご自分で気付かれたしこりなどがある場合は、撮影技師にお伝え下さい。

注意事項

以下にあてはまるものがある方はお申し出下さい。

- ✓ 心臓ペースメーカーを装着されている方
- ✓ 乳房豊胸手術を受けられた方
- ✓ 妊娠中、授乳中の方
- ✓ Free Style リブレ Pro (Abbott 社)を装着されている方
- ✓ その他、気になることがございましたら遠慮なくお申し出下さい